

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 &lt;第68号&gt;

## かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠  
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F  
TEL045-633-5142 FAX045-633-5194  
Email:iguren@kanagawa-iguren.com  
http://www.kanagawa-iguren.com

### 神奈川異グ連・平成20年度事業体系について

芝 忠

平成20年度のスタートにあたり、異グ連事業体系図を見直しました。より分かりやすく、かつ重点を理解しやすいものに作り変えたつもりです。主力テーマは①地域産学連携事業、②航空宇宙産業振興事業、③国際交流・連携事業の3本柱です。これに④中小企業振興条例づくり、⑤中小企業人材確保プロジェクトなどが加わります。

- ① **地域産学連携事業**：地域産学交流のさらなる浸透のため、横浜サロンを見直し異グ連会員活動フォーラム（5月14日第一回開催）とのドッキングを図ることで準備中です。このサロンの運営は異グ連会員のIES（国際交流支援協議会）と共催を予定しています。さらに神奈川県産業技術センター研修部との連携により、海老名サロンを新たに開設の方向で準備を進めています。
- ② **航空宇宙産業振興事業**：航空宇宙産業振興策として以前から“まんてんプロジェクト”の支援を行ってききましたが、4月10日付け日本経済新聞の松沢神奈川県知事インタビューで「県内には自動車やエレクトロニクスなどで優れた技術を持つオンリーワン企業がたくさんある。こうした技術は航空機産業にも活かせる」「これだけ集積しているのに今まで航空機産業は弱かった。今後は航空機部品の整備事業で、日本航空や全日本空輸など航空会社と県内企業の連携強化を促していく」と述べています。この発言を受けて県庁の関係部門の動きが慌しくなり、我々も県産業技術センターの所長・副所長と会談を行うなどで、具体的な支援策を提言・要望しているところです。ANA（全日空）との修理部品の国産化プロジェクトも進行しそうです。

関東学院大学からの調査受託事業が3年目に入り、今年度は電気・電子分野の研究開発型企業を対象とする計画です。昨年度の調査事業では、中小企業の航空機産業振興のための全国ネットワークづくりや、広域関東圏の公設試県研究機関ネットワークづくりを提言しています。この提言を航空宇宙産業振興策として具体的に活かそうと考えています。

- ③ **国際交流・連携事業**：国際交流は韓国京畿道が4年目に入り、今年は京畿道を訪問する順番となっています。またJICA（国際協力機構（外務省の外郭団体））の受託事業としてアルメニア研修を3年間行い大変好評でしたが、そのチームワークを引き続き活用したい、というJICAからの強い要望があり、南西アジア方面の国の支援事業が対象に上っています。

中小企業振興条例づくりは、神奈川県当局自身の推進により広がりを見せていますが、年内制定と目されている日程からは、まだまだ県内諸団体に対する浸透が充分ではなく、神奈川異グ連が先行して取り組んできた経験を生かし、協力していきたいと思えます。さらに今年度は長年の懸案である中小企業の人材確保対策にも取り組み、方向を見出したいと考えています。

今年度も神奈川異グ連は走りつづけますので、各方面からのご協力をよろしくお願いいたします。

了

### 産学官交流サロンのコーナー

#### おなじみ尾上町サロン

日時：第一・三金曜日（5月16日、6月6日、20日）会場：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所  
連絡問合：神奈川異グ連事務局芝、島津龍男、八幡、鈴木 045-633-5142 会費：現物も大歓迎

#### 第14回西湘サロンの開催案内

日時：2008年5月12日（月）18:00～20:30  
場所：あいおい損保小田原支社（瀬戸ビル）3F  
話題：中小企業と税務  
関東学院大学法学部教授 阿部 徳幸氏  
参加費：1000円（ビール、おつまみ付）  
申込：島津俊、吉池、芝 tel 045-633-5142

#### 第27回三浦半島経済人サロンの開催案内

日時：2008年7月24日（木）18:00～20:30  
場所：神奈川新聞社横須賀支社 5F会議室  
話題：あなたの想いを商品に（株）ボンド代表取締役  
NPO 湘南スタイル理事長 藁品孝久氏  
参加費：1000円（ビール、おつまみ付）  
事務局：八幡 045-633-5142、鶴野 045-836-6785

**第1回(5月14日)会員フォーラムの報告**

小野川BC

神奈川県異グ連新年度の新たな試みの一つとして、会員フォーラムが中小企業センター6Fにて開催された。これは従来からの会員グループ事務局長交流会議を事務局長だけでなく、広く企業会員・個人会員の交流へと拡大し、さらに地元横浜サロンも包含した多機能地域サロンへと摸索する事業である。

今回はテーマ「**わが社の経営戦略と異業種交流**」で京浜産業株式会社代表取締役社長 酒匂雅信氏のお話を聞きました。同社は昭和21年に鋼材販売業で設立され、酒匂社長は2代目である。異グ連には1984年発足当時から参加いただいている。同社は「60年代以降の自動車産業拡大にともない、乗用車向けが売上の80%までになったが、過大な乗用車依存に伴う経営上の課題も山積した。酒匂社長は、当時皆が敬遠した“重厚長大”を当社のコアと位置付け、方向転換を試みた結果、現在では建設・土木・橋梁・重電・船舶向け鉄工/非鉄部材の加工・組立でオンリーワンの位置を獲得している。一例をあげると東海道新幹線M700系の車両を繋ぐ中心ピンの60%は当社品であり、また大型タンカーの非常曳航装置、橋梁の免振装置等々、ユニークな製品の数々を紹介いただいた。

質疑応答の後、参加者24名全員が活動状況や情報の提供を行い、17:00からは5Fの産業交流プラザでの懇親会でも交流を深めた。当フォーラムの運営はIES(国際交流支援協議会)に行っていたいただき、司会はIES理事長の加藤めぐみ氏が担当された。これもフォーラムの大きな成功要因であった。

**かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況****まんでんプロジェクト**

千田 JASPA 取締役

- 4月3日、秋田県産業技術総合センターの幹部とまんでんプロジェクトが神奈川県産業振興センターにて会合した。秋田県が中心となって平成19年10月16日発足した東北6県の公設試を窓口とする「**東北航空宇宙産業研究会**」の現状などが紹介された。この研究会は産業技術連絡推進会議の東北地域部会が、機械・金属分科会の活動の一環と位置づけ設立したもので、東北各県にある優れた技術を、自動車産業の次の成長分野である航空宇宙産業に役立て、地域中小企業の活性化を図ることとしている。秋田県産業技術総合センターは、機械設計、機械加工など重要技術分野ごとに担当スタッフを専属させ(現時点で8名)、企業の支援を行う計画である。この研究会には各県単位での参加を行うこととしており、既に発足済みの秋田県輸送機コンソーシアム(秋田県)、Kプロジェクト(宮城県)などから30企業・大学等が参加し、工場見学、共同出展などを計画している。まんでんプロジェクトとは広域連携を目指して緊密に連携していくこととなった。
- 20年度の経済産業省の新規委託事業「中小企業IT経営革新支援事業」の公募にたいし、COXEC委員会メンバーと共同でEDIシステム構築に係る提案書を提出した。中小企業が航空宇宙の共同受発注、共同品質保証などに使えるITシステム「まんでんEDI」を実現する為である。
- 4月16日、名古屋市、名古屋都市産業振興公社、日刊工業新聞名古屋支社と**本年11月の名古屋ポर्टメッセにて開催される「航空宇宙産業技術展」**などの打ち合わせを行った。トリノ商工会議所の招聘に関しても相談をした。

**第84回日韓ビジネス協議会(総会4月23日)報告**

高橋導徳BC

総会：第1号議案～第4号議案 全ての議案が承認されました。

メイン講演：「**我が起業家人生**」・・・アッシュインターナショナル.Inc 代表取締役 建入ひとみ氏

- ・民放のアナウンサーから始まり、フランスに留学、欧州およびアジアまで40カ国ほど回り、帰国後、コンサルタント会社を設立した。社会起業家のチェンジメーカーの創設・・・例を挙げて解説された。雑誌「BIGISSUE」日本版への挑戦・・・ホームレスが中心になって「物乞いするくらいなら、何でもする」ホームレスの仕事をつくる活動状況を説明された。過疎地の活性化・・・山の資源をフレッシュな料理のつまみとして活用。今後の医薬の方向性、21世紀企業と人のあり方など理解しやすく説明された。

\*\*\*\*\*

**第85回日韓ビジネス協議会開催**

高橋導徳BC

日時：H20年5月21日(水)15:00～17:00 (17:15から懇親会)

場所：神奈川県中小企業センタービル・・・5階 会議室 会費：1000円

内容：日本企業紹介・・・韓国投資説明会に参加の感想など 大島経営研究所所長 大島英雄氏

韓国企業との折衝状況について・・・(有)オリエントマシン 取締役 平手陽介氏

メイン講師：「**日韓産業連携の現状と将来**」・・・副会長 石田賢氏

申込先：TEL&FAX：045-311-0094 高橋迄 MAIL：[mtakahas@tb3.so-net.ne.jp](mailto:mtakahas@tb3.so-net.ne.jp)

### C&SグループH20年度総会

C&Sグループ総会が4月20日湯河原の万葉荘にて開催され、提出議案は一部訂正後承認された。役員が大幅に改選された。

<新役員>

会長：魚崎誠也氏

副会長：小林 巽氏（イベント担当）、松井利夫氏（ビジネス担当）

事務局長：村田和彦氏、事務局次長：石井君治氏

会計：新山光一氏、副会計：飯島伸博氏

IT担当：菊池 博氏 会報担当：佐藤宏史氏、石井君治氏

イベント担当：荒直孝氏、服部昌幸氏、吉池正樹氏

ビジネス担当：杉本明子氏、横山徹氏

会計監査：相楽 守氏

<確認事項>当グループは異業種交流をサポートすることを主たる目的に神奈川異グ連発足の翌年に設立された。この精神に則り今後も新役員が率先し、会を上げて異業種交流の振興に努める。

（一部議事録から引用して掲載：小野川利昌）

### ごあいさつ

C&Sグループ会長 魚崎誠也

C&Sグループは、異グ連所属の企業の方と一般の中小企業主を支援する中小企業診断士（中には技術士の方もいます）の集まりとして昭和60年に誕生したグループです。

発足当初は神奈川県在住の中小企業診断士が初代会長後藤道秀先生を中心に異グ連を支援しておりました。現在では、東京在住の診断士を含めて、36名の会員を擁するまでに大きくなり活動範囲も広がっております。これからも、異グ連とC&Sグループのそれぞれの良いところを伸ばすと同時に、相乗効果も期待して、活動したいと思います。

よろしくお願いいたします。

### シフト21活動状況

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会を開催しております。（原則第二火曜日開催）

5月定例会は18・19日に視察研修会（伊那食品工業株式会社）を行いました。

**6月定例会は6月10日（火）（18：30～かながわ県民センター）、株式会社シー・コミュニケーションズ代表取締役 大羽りん氏に「中国式コミュニケーション術」というテーマでお話をお伺いします。**①中国人を知るためのキーワード、②中国人と仲良くなるための方法 ③中国人と交渉する際のコツを、長年中国語の通訳・翻訳に携わっていらっしゃるご経験からお話いただきます。中国ビジネス、中国人とかかわりのある方はぜひご参加ください。また、北京オリンピックを新たな視点で見るチャンスかも！

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております（初回参加は無料）。お問合せは有村までお願いいたします。（arimura-c@nifty.com）

### 関連イベントのお知らせ

かながわ異グ連

#### 年次総会予告！

日時：6月25日（水）

場所：神奈川中小企業

センタービル

13F 大会議室

\* 内容詳細は追ってご連絡いたします。

#### 募集！

#### H20年度かながわコンソーシアム事業

#### 募集！

企業間連携・産学公連携による事業化を目指すテーマ募集！！

対象分野：新製造技術、環境、医療福祉、情報通信、生活文化、ビジネス支援、人材、国際化、バイオテクノロジー

支援内容：専門家によるコーディネート、事業化促進委託事業、連携体構築、見学会、交流会、展示会（テクニカルショウヨコハマ） 出展 など

申請方法等詳細：<http://www.kipc.or.jp/hands-on/consortium.html>

申請期日：H20年5月23日（金）必着 6月に採択テーマ選定・発足会予定

問合せ・申込先：(財)神奈川産業振興センター企業化支援部交流支援課 045-633-5192

### 論壇

#### 皆様のご意見を求めます！！

#### 格差について考える（その2）

C&S 村上嘉男

昨年から話題になっている「格差問題」についてその後の推移を調べてみた。

最近の国際通貨基金の報告書（2007年10月版）によると過去20年間の傾向としては、ほとんどの国や地域で所得の国内格差が拡大しており、国における最高所得層と最低所得層の比をみると先進国の中で日本が一番低い値（格差が小さい）となっているそうである。

しかし現実の所得をみると、2006年国税庁調査の民間給与統計によると年収200万円以下の人は1022万人いるようで4.4人に1人が該当している。

全国で生活保護を受けている所帯は、92年60万所帯が06年7月には107万弱となっている。都会と地方の格差も叫ばれているが、東京においても足立区は日本の保護所帯の1%を占め、児童の給食費未納率は約40%に達しており都会の中でも格差が存在するようである。

バブル崩壊後企業の減量経営の結果、正社員の減少、非正社員の増加により安定した職に就けないフリーターや、職自体に就こうとしないニートといった存在が注目されるようになり、先日のテレビによるとニートは全国で167万人いるそうである。

格差の発生するタイミングは人生の中で以下の3つの段階で発生することが多いようだ。

- ① **就職のタイミング**：就職は生涯の収入に深く係わるため、就職に失敗すると格差が生じる。
- ② **出産・育児の時期**：公務員や大企業以外は育児休暇の制度が未整備のところが多い。
- ③ **高齢化のタイミング**：老人になると収入が増える機会が減る一方で健康を害する等のリスクが高まる。

格差是正のためには、教育機会の平等や職業教育・訓練機会の増加により高技能者を増やすことにより所得水準の底上げが図れる。しかし同時にこれ等の受講者の意識改革も必要である。先年、雇用保険の受給者が職業訓練の講習を受けることにより受給期間が延長になる制度を利用したが、**講習のコース終了時教室のゴミ箱に沢山のテキストを捨てて帰る**といった状況を見ると受講成果もあまり期待できないようである。

このところの原油のとどまることを知らない高騰は燃料を初めとして、食料品や諸物価の高騰をもたらし、企業も今まで以上に減量経営に走る結果、低所得層の増加に歯止めがかからなくなりそうで、まだまだ課題は多いようである。

### 情報化の恐ろしさ

C&S 会長 魚崎誠也

情報化が言われてから久しい。しかし今までは他人事のように言われてきたように思われる。インターネットが普及しメールで通信ができるようになり便利になったが、それ以上のことをあんまり考えていなかった。ところが広告業界では、インターネットの広告高が非常に勢いで伸びている話を聞いた。ラジオと雑誌での広告高をすでに追い抜き、新聞の広告高にもうすぐ追いつきそうなのである。さすがにテレビの広告高にはまだ及ばないが時間の問題とも言われている。いま、新聞社は危機を感じて、対策を検討中というが、なかなかうまい方法はないようである。

展示会も活況を呈している。ビッグサイトのホームページを見ると、あらゆる業種の展示会が行われており、驚く。筆者も、最近、立て続けに、グッドデザイン展、機械素材展などに行って、今まで知らなかった情報を得ることができた。昔の晴海での展示会と様変わりである。

このように IT の技術革新で、世の中は確実に動いていることを感じるようになった。これは、想像するに IT 技術だけではなく、この新しい情報発信を事業とする、ニュービジネスの力があつたものと思われる。展示会のダイレクトメールを見ると、このことがわかる。広告展示を企画興行する専門会社が現れている。一度行くと毎年そこからダイレクトメールが配信されるところからも想像できる。

このように自分がほしい情報をどこに行けば得られるかが分かるようになり、それも多岐にわたるようになってきている。ハウスメーカーなどは、常設の展示場を郊外に設け、地震対策を実感できるような施設にしたり、環境対策を施した住宅などを展示している。

このような中で異グ連活動を考えてみると、異グ連活動はもともと中小企業主の方が情報を求めて集まる場を提供することであった。異グ連のネットワークの広さ、鋭い情報アンテナのおかげで、我々 C&S グループも適度に時期を得た活動を行うことができたのである。しかし、これからも今までと同じような支援でいいのだろうかここで考える時期になっている。

今、異グ連から、異グ連の事業をコーディネートする人、その他を求められている。その他の労務提供ぐらいならなんとかなるが、事業そのものを企画してコーディネートするとなると労力だけでなく、事業に関する知識もいるであろうし、以上述べたような世の中の変化を知り、さらには先行きの見通しも立てるとなると、相当の人材なり、そのようなことに強い関心を持つ、リーダー格の人材が必要になる。自分の仕事を放り出しても、そのような事業に専念できる人材を探すのに苦慮しているところである。

#### 事務局のコーナー

**神奈川県異業種グループ連絡会議** 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】 魚崎 誠也 村上 嘉男 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 芝 忠 杉本 明子  
 【木】 八幡 敬和 松井 利夫 【金】 芝 忠 織方 盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 5 階

神奈川県異業種グループ連絡会議事務局 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194

URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail : [iguren@kanagawa-iguren.com](mailto:iguren@kanagawa-iguren.com)

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail [t-onogawa@pro.odn.ne.jp](mailto:t-onogawa@pro.odn.ne.jp) 小野川へお送りください。  
 神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!